

研究活動説明会

2019年7月19日(金) 13:30~17:20 (参加無料)

日本大学生産工学部津田沼校舎39号館602教室

【主催】 日本大学生産工学部 自動車工学リサーチ・センター

【協賛】 公益社団法人自動車技術会(予定) 一般社団法人日本機械学会(予定)
名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所(予定)

特別講演① バイクのようにリーンするPMVは社会に受け入れられるのか?

講演者:原口 哲之理(日本大学生産工学部 機械工学科 上席研究員)



内 容: PMVの歴史は自動車の歴史と共に始まり、第一世代、第二世代は世の中から消えていった。いま第三世代の研究開発が始まっているが、新しいモビリティが社会に根付くのは、それが本質的に社会に必要なものであるときた。旋回時に内傾するPMVが社会に根付くのか、将来に求めるモビリティ社会の姿から考察する。



特別講演② SIP“革新的燃焼技術”におけるエンジン筒内粒子状物質(PM)生成に関する研究

講演者:秋濱 一弘(日本大学生産工学部 環境安全工学科 教授)

内 容:SIPプロジェクトの制御チーム(研究課題:直噴ガソリンエンジンにおけるPM生成詳細モデル構築ならびにPM低減指針の提示)のグループのリーダーとして参画し、直噴ガソリンエンジン特有の冷間始動時プール火炎からのPM生成を含めて、前駆体から粒子生成までの過程を検討するとともに、粒子生成計算手法を駆使し、3次元熱流体計算を用いて、直噴ガソリンエンジン内のPM生成計算を実現した研究成果を解説する。

13:30~13:35 新センター長挨拶 高橋 進(機械工学科 教授)

【研究トピックスの紹介】

13:35~13:55 「ドーム形フランジ付き点火プラグの実機を用いた燃焼試験」

機械工学科 助教 菅沼 祐介(エンジン・燃焼研究G)

13:55~14:15 「炭素繊維強化熱可塑中間材の連続成形」

機械工学科 専任講師 平林 明子(先進材料・加工・構造研究G)

14:15~14:30 15分休憩

14:30~14:50 「ドライバ特性を考慮した情報提示方法に関する研究」

機械工学科 准教授 栗谷川 幸代(安全とヒューマンファクターG)

14:50~15:10 「ドローンによる空撮動画像のフラクタル解析を用いた車両の追跡」

電気電子工学科 教授 黒岩 孝(スマートモビリティ情報通信技術研究G)

15:10~15:25 15分休憩

15:25~15:45 「繊維体吸音材料のBiotパラメータの推定に関する研究」

数理情報工学科 教授 見坐地 一人(運動・振動・制御研究G)

15:45~16:05 「次世代パワーソース・シミュレーショングループ研究概要」

数理情報工学科 教授 角田 和彦(次世代パワーソース・シミュレーション研究G)

16:05~16:20 15分休憩

【特別講演】

16:20~16:50 「バイクのようにリーンするPMVは社会に受け入れられるのか?」

機械工学科 上席研究員 原口 哲之理

16:50~17:20 「SIP“革新的燃焼技術”におけるエンジン筒内粒子状物質(PM)生成に関する研究」

環境安全工学科 教授 秋濱 一弘

18:00~19:30 交流会(39号館2階食堂 会費:3,000円)